

今号の記事

発言者と主な内容…2面／主張・中央委員会
アピール…3面／第37回機関紙コンクール特
集…4・5面／みんなのひろば…6面／年金
者文芸・パズル…7面／わが支部／わが町／
旅・たび(町田支部)…8面

2026年5月末 組合員数94,383人

連絡先 電話03(5978)2751

FAX03(5978)2777

honbu@nenkinsha-u.org

ホームページ／年金者組合で検索

年金者 しんぶん

第439号 2026年7月15日(水)

(通巻第638号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル
発行人 岩崎 勇 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

中央執行委員長あいさつ



岩崎勇委員長

平和・くらし・組織強化の
3点について提起します。

第1に、政府が軍備拡大
や憲法改正を進める中、日本
は「戦争する国づくり」か
「外交と対話による平和の
国づくり」かの岐路に立
っています。軍事費増額や武器輸出拡大な
どの「戦争できる国づくり」ではなく、憲
法9条を守り、戦争を許さない運動を広げ
ましょう。

第2に、物価高騰や社会保障制度の改悪
によって高齢者の生活が厳しさを増してい
ます。年金増額は物価上昇に追いつかず、
医療や介護の負担増も進んでいて、年金改
善や社会保障の充実を求める運動の強化が
必要です。日本経済の再建には賃上げ、年
金引き上げ、消費税減税、公的支出拡大な
どの内需拡大が必要です。

第3に、「ひとりぼっちの高齢者をなく
す」ことを目標に、年金者組合の活動発展
を提起します。春の月間では1677人の組
合員増を実現しましたが、さらなる拡大が課
題で、若い高齢者への働きかけや支部活動
の活性化、世代継承と女性役員の拡大、オ
ンライン活用による運営改善を進め、でき
ることから実施したいと思います。最後に、
活発なご発言をお願いいたします。

年金者組合を強く大きく 第49回中央委員会開く



全日本年金者組合は、6月11・12日、東京都
内と全国各地をオンラインで結んで第49回中央
委員会を開き、物価高騰が続くもとで切実な年
金引き上げや最低保障年金制度の実現、憲法や
平和を守る運動の強化などを話し合いました。

方針の提案



木田保男書記長

木田保男書記長は、第
49回中央委員会の意義と
して、①軍拡・改憲・社
会保障改悪に反対し平和
と社会保障充実を目指す
こと、②物価上昇を上回
る年金引き上げと最低保
障年金制度実現を求める
こと、③組織強化4カ年
計画を前進させること、
④新年度予算と役員体制
を確立することの4点を
提起しました。

物価高騰が続く中、年
金改定率は物価上昇に及
ばず、高齢者の暮らしは
一層厳しくなっていま
す。OTC類似業の保険
春の月間は1677人
の新規加入を実現したも
の、組織拡大は引き続
きの課題です。支部活動
や学習活動を通じて仲間
を増やし、年金者組合の
前進につなげていきま
しょう。平和と暮らしを
守るため力を合わせて運
動を進展させましょう。

運動面では、物価を上
回る年金引き上げとマク
ロ経済スライド廃止を求
める署名活動を推進し、
10万筆を超える署名を
国会へ提出しました。
補聴器購入助成制度の
拡大や地域の高齢者支
援、文化・サークル活動
の充実にも力を入れ、「ひ
とりぼっちの高齢者をな
くす」取り組みを進めて
いきます。

適用縮小など医療・介護
制度改悪が国会で推し進
められています。改憲や
軍拡を進める政府の動き
に反対し、全国900支
部による草の根運動が重
要です。

6月支給日宣伝



宮城で



埼玉・与野で



滋賀で



日本共産党衆議院議員
辰巳孝太郎さん

国会では自民党が十分
な審議を行わず法案を強
行採決し何でもかんでも
押し進めています。

一方で、国家情報会議

設置法や健康保険法改悪
案をめぐり、世論の高ま
りによって野党の態度が
変化した事例もあり、私
たちも勇気づけられてい
ます。

高齢者が社会保障の負
担増の原因であるかのよ
うな議論は誤りであり、
年金積立金や国の財政力
を活用すれば年金改善は
可能です。「年金を上げ
ろ」の声を大きく広げて
いきましょう。

来賓のごあいさつ



全労連副議長
九後健治さん

私の母が補聴器購入補
助制度を利用できたの
は、その背景に年金者組
合の皆さんによる粘り強
い運動があったからです。

また、高齢者が生活の
ために働き続けなければ
ならないのは、低年金や
社会保障の不十分さなど
、根本には政治の問題
があります。消費税減税
や暮らしを支える施策の
実現が進んでいない。

今、憲法集会や国会行
動などに多くの市民が参
加し、政治への不満や変
革を求める声が広がって
いるので希望がありま
す。力を合わせましょう。

▼高市首相は、先の自民党大会で「時は来た」と、改憲に異常な執念を燃やしている▼今年度予算には9兆円を超える軍事費を注ぎ込み、長射程ミサイルの配備、武器輸出の解禁、国家情報会議の設置法の強行など「戦争する国づくり」に躍起となっている▼中央本部が6月の年金支給日に行ったシール投票では「改憲反対」「憲法9条守れ」の声が88%と圧倒的多数である▼トランプ大統領が求める「ホルムズ海峡への自衛隊派遣」では、憲法9条が歯止めとなつた▼いま、「戦争は嫌だ」「9条守れ」のペンライト集会、スタンディングなどが、国会周辺だけでなく全国各地で広がっている▼特徴は、デモや集会は初めてという若い人や女性の参加者が多いことだ▼国会は「翼賛国会」という状況だが、憲法を真ん中に据えた新しい共同の広がりや希望ある流れに確信を持ちたい。(H)

風雪